

## 卒後藤谷塾 議事録

開催日時：平成 30 年 6 月 13 日（水）7：00～8：00 場所：テレビ会議

### I. 活動報告

A：整形外科病棟、救急外来にて活動。現在 2～3 人の患者を受け持っている。  
院内の特定行為に関しては電話で要請あり、対応している。

B：整形病棟で 50～60 人の病棟管理。問題はない。

C：内科で 5～6 人の患者を担当している。  
在宅も始めており、今後特定ケア看護師がどこまで介入するか検討中。

D：内科で院長の患者を受け持っている。  
看護師不足により看護業務を行う事もある。今後看護スタッフの理解を深めていく。

E：脳外科の病棟で現在 15 人前後の患者の病棟管理をしている。脱水の補正などが多い。

F：循環器、糖尿病内科で臨床研修中。研修医が優先となる事が多い。

G：救急外来で臨床研修中。独歩で来院した患者のファーストタッチをしている。  
問診、診察、コンサルを中心に行っている。

H：看護師不足のため夜勤を継続している。日勤でも看護業務に携わることが多い。  
特定行為としては、気切交換、胃瘻交換などを行っている。  
退院後の訪問も行っており、今後継続していきたい。

I：指導医不在のため病棟の看護業務が中心になっている。今後臨床研修を再構築する予定。

J：ICU で臨床研修中。  
CVC 挿入、バスキャス挿入、胸腔穿刺など医師のサポートの下で行っている【おもに介助】。  
今後内科のローテーションを考えている。

K：救急外来で臨床研修中。外科は指導医の下、ファーストタッチに携わっている。  
内科は他院からの派遣医師が週替わりであるため、医師の理解を得る事が困難な状況にある。  
内科医師全体に理解してもらおうためのアプローチが必要。

### II. 症例報告

症例：DKA・HHS